

平成20年度事業報告

平成20年4月1日から平成21年3月31日までの事業概要は次のとおりである。

〔1〕会 員

平成20年度末の会員数は次のとおりである。

区 分	会 員 数	備 考
個 人 正 会 員	2,269名	うち海外在住外国人正会員70名
団 体 正 会 員 (公 益)	98口	
団 体 正 会 員 (賛 助)	65口	
学 生 会 員	417名	
名 誉 会 員	21名	うち外国2名
合 計	2,870名	

〔2〕運営に関する会議

1. 第28回通常総会の開催

第28回通常総会を次のとおり開催した。

- (1) 日 時 平成20年6月20日(金) 12時31分～12時59分
- (2) 場 所 アルカディア市ヶ谷(東京都千代田区)
- (3) 出席者 1,355名
- (4) 議 題
 - 1) 平成19年度事業報告および決算(案)について
 - 2) 平成20年度事業計画(案)および予算(案)について
 - 3) 名誉会員の推挙について

2. 理事会の開催

理事会を次のとおり開催した。

(1) 第79回理事会

- 1) 日 時 平成20年5月20日(火) 15時00分～17時20分
- 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
- 3) 出席者 花木会長他理事19名、委任状による出席理事10名、監事1名、幹事3名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 名誉会員の推挙について
 - イ. 各賞表彰(学会賞、学術賞、論文賞、論文奨励賞、技術賞)について
 - ウ. 平成19年度事業報告および決算報告(案)について
 - エ. 平成20年度事業計画(案)および予算(案)について

- オ. 総会開催案内・委任状
- カ. 京都会議記念基金・派遣助成制度助成対象者の選考について
- キ. 新入会員の理事会承認について
- ク. 社団法人日本水環境学会機関誌編集規程の制定について
- ケ. 各担当理事報告
- コ. その他

(2) 第80回理事会

- 1) 日 時 平成20年8月6日(水) 15時05分～16時57分
 - 2) 場 所 学会事務局会議室(東京都江東区)
 - 3) 出席者 花木会長他理事16名、委任状による出席理事13名、幹事4名、他に事務局
 - 4) 内 容
 - ア. 新入会員の理事会承認について
 - イ. JWETの編集規程変更について
 - ウ. 平成20年度予算執行状況
 - エ. 各委員会委員の選任について
 - オ. 企業からの寄付金について
 - カ. 第23回環境工学連合講演会について
 - キ. 各種委員会報告
 - ク. 各支部報告
 - ケ. その他
- ・理事会の後に理事懇談会を開催した。

(3) 第81回理事会

- 1) 日 時 平成21年3月17日(火) 12時15分～13時50分
- 2) 場 所 山口大学共通教育本館棟会議室(山口市吉田)
- 3) 出席者 花木会長他理事20名、委任状による出席理事9名、監事1名、幹事10名、他に事務局
- 4) 内 容
 - ア. 年会の状況報告
 - イ. 年会優秀発表賞(クリタ賞)選考結果の報告
 - ウ. 学生ポスター発表賞(ライオン賞)選考結果の報告
 - エ. 平成21年度暫定予算(案)について
 - オ. 平成20年度水環境文化賞授賞候補者選考結果について
 - カ. 理事候補者被選挙人の承認について
 - キ. 表彰規程の改定について
 - ク. 会員管理業務・編集業務の改革およびホームページの刷新について
 - ケ. 新入会員の承認について

コ. その他

〔3〕 年会

第43回日本水環境学会年会を次のとおり開催した。

1. 日 時 平成21年3月16日(月)～18日(水)
2. 場 所 山口大学(山口市吉田)
3. 参加者 1,162名
4. 発表件数 591件(口頭461+ポスター130件)

〔4〕 シンポジウム

第11回日本水環境学会シンポジウムを次のとおり開催した。

1. 日 時 平成20年9月18日(火)～19日(水)
2. 場 所 関西大学(大阪府吹田市)
3. 参加者 450名
4. 12の研究委員会がそれぞれシンポジウムを企画し開催した。
5. 本部企画としては「水環境における国際貢献と海外ビジネス」を企画し開催した。
6. 関西支部企画として「水環境モニタリングのデータ活用と今後の展望」を企画し開催した。
7. 昨年度に引き続き、若手研究紹介(オルガノ)セッションを開催し、博士後期課程学生の研究発表とその表彰を行った。

〔5〕 国際会議

1. 大韓環境工学会と共催で第17回日韓水環境シンポジウムを開催した。
開催日： 平成20年10月10日(金)
場 所： 石巻専修大学(宮城県石巻市)
2. 中国環境科学学会と共催で第8回日中水環境シンポジウムを開催した。
開催日： 平成20年11月29日(土)
場 所： 蘇州国際会議場(中国蘇州)

〔6〕 機関誌

1. 機関誌「水環境学会誌」を毎月発行し、会員に配布した。
2. 機関誌“Journal of Water and Environment Technology”を発行した。
3. 機関誌「水環境学会誌」原著論文のバックナンバーを科学技術振興機構(JST)が運営するJ-STAGE上で公開した。
4. 「水環境学会誌」およびその前身の「水質汚濁研究」のVol.1～Vol.30のPDF版を収めたDVD-ROMを制作し販売した。

〔7〕 IWA 活動への協力

1. IWA およびその国内委員会の活動に参加し、IWA 活動を支援・推進した。
2. 国際会議の企画、開催、運営などに協力した。

3. IWA 発行機関誌などの編集に協力した。

〔8〕 出版企画

「日本の水環境行政 改訂版」を発刊した。

〔9〕 支部活動

7支部がそれぞれ総会、講演会、セミナー等を実施した。

〔10〕 研究委員会活動

17 研究委員会（嫌気性微生物処理、MS 技術、生物膜法、土壌・地下水汚染、身近な生活環境、ポピュレーションダイナミクス、バイオアッセイによる安全性評価、水環境と洗剤、水環境保全の国際協力、水中の健康関連微生物、湿地・沿岸域、ノンポイント汚染、水環境教育(WEE21)、膜を利用した水処理技術、流域水環境ソリューション、紫外線を利用した水処理技術、産業排水の処理・回収技術）が、それぞれシンポジウムでセッションを企画するなどの活動を行った。

〔11〕 表彰

平成 20 年度の論文賞、論文奨励賞（廣瀬賞）、技術賞および水環境文化賞の受賞者を選考の結果、次の各氏・団体に決定した（敬称略・50 音順）。

(1) 論文賞

1) 受賞者 おおはし あきよし
大橋 晶良（長岡技術科学大学環境・建設系（現在 広島大学大学院工学研究科・教授））

主要対象論文 嫌気共生培養系を利用した未培養系統分類群に属するメタン生成古細菌の分離・培養

掲載誌 水環境学会誌, Vol. 29, No. 7, 389-397 (2006)

2) 受賞者 おかべ さとし
岡部 聡（北海道大学大学院工学研究科・教授）

主要対象論文 Quantification of anaerobic ammonium-oxidizing bacteria in enrichment cultures by real-time PCR

掲載誌 *Water Research*, Vol.41, No.4, 785-794 (2007)

3) 受賞者 ふじい しげお
藤井 滋穂（京都大学大学院工学研究科附属流域圏総合環境質研究センター（現在 京都大学大学院地球環境学堂・教授））

主要対象論文 Analysis of parameter variations in L-Q equations for river runoff processes from the viewpoint of spatial and temporal conditions

掲載誌 *Water Science & Technology*, Vol.53, No.10, 141-152 (2006)

(2) 論文奨励賞 (廣瀬賞)

- 1) 受賞者 ^{しのはら あずさ} 篠原 梓 (現在 ^{えがしら あずさ} 江頭 梓) (財団法人地球人間環境フォーラム)
対象論文 HPLC-PAD 法を用いた糖類の高感度分析法への応用と湖水及び藻類由来溶存有機物の糖類組成
掲載誌 水環境学会誌, Vol.31, No.8, 447-454 (2008)
- 2) 受賞者 ^{むらかみ みちお} 村上 道夫 (東京農工大学大学院共生科学技術院 (現在 東京大学総括プロジェクト機構「水の知」 (サントリー) 総括寄付講座))
対象論文 Multiple evaluations of the removal of pollutants in road runoff by soil infiltration
掲載誌 *Water Research*, Vol.42, No.10-11, 2745-2755 (2008)

(3) 技術賞

- 1) 受賞者
社団法人東北建設協会 ^{すがわら まさいち} 菅原 政一
株式会社イズム ^{はやかわ いさむ} 早川 勇
対象技術 画像処理を導入したふん便性大腸菌群数の迅速な自動計測システムの開発

(4) 水環境文化賞

- 1) 水環境文化賞
a) 受賞者 美しい山形・最上川フォーラム (山形県山形市)
対象活動 最上川の景観を守る独自の取組みや文化の継承、地域の連携の場としての積極的な活動
b) 受賞者 里山ビオトープ二俣瀬をつくる会 (山口県宇部市)
対象活動 里山の再生をコンセプトとしたビオトープの維持管理や、自然観察、里山の暮らしの体験学習などの継続的な活動
- 2) 水環境文化賞「児童・生徒の部 (みじん子賞)」
a) 受賞者 学校法人盈進学園盈進中学校・盈進高等学校環境科学研究部 (広島県福山市)
対象活動 地域固有の希少生物の保護と研究及び地域観察を通じた継続的な環境学習活動

(5) 年会優秀発表賞

- ^{おおたに しんじ} 大谷 信二 (広島大学大学院工学研究科)

おざわ とおる
小澤 徹 (東北大学大学院工学研究科)

くまがい つばさ
熊谷 翼 (東北大学大学院工学研究科)

こみね りえこ
小峯 理恵子 (鹿児島大学大学院理工学研究科)

さかいだ けんじ
坂井田 健司 (東京大学大学院工学系研究科)

なすの
奈須野 あすか (筑波大学大学院生命環境科学研究科)

はせがわ しゅん
長谷川 駿 (関東学院大学大学院工学研究科)

はとり じゅん
羽鳥 潤 (北海道大学大学院工学研究科)

はやし りょういち
林 諒一 (東北大学大学院工学研究科)

ふじたに ひろつぐ
藤谷 拓嗣 (早稲田大学大学院先進理工学研究科)

まつうら のりひさ
松浦 哲久 (長岡技術科学大学大学院工学研究科)

やまざき こうたろう
山崎 甲太郎 (横浜国立大学大学院環境情報学府)

(クリタ水・環境科学振興財団からの出捐顕彰事業として、上記の12名の大学院修士課程学生に「年会優秀発表賞」を授与した。)

(6) 年会学生ポスター発表賞

おおしま よしあき
大嶋 義章 (長岡工業高等専門学校)

こばやし あやの
小林 彩乃 (群馬工業高等専門学校専攻科)

さかもと かずたか
坂本 和隆 (山口大学工学部)

なるみや まさのり
成宮 正倫 (京都大学工学部)

ほんだ ゆうた
本多 勇太 (徳島大学総合科学部)

(ライオン株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の5名の学部生および高等専門学校生に「年会学生ポスター発表賞」を授与した。)

(7) 博士研究奨励賞

おしき まもる
押木 守 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)

きむ いるほ
金 一昊 (京都大学大学院工学研究科)

つじ こうじ
辻 幸志（山梨大学大学院医学工学総合教育部）

ないとう りょうじ
内藤 了二（東京工業大学大学院理工学研究科（独立行政法人港湾空港技術研究所））

はたもと まさし
幡本 将史（広島大学大学院工学研究科）

やまむら ひろし
山村 寛（北海道大学環境ナノ・バイオ工学研究センター）

わたなべ たかし
渡部 貴志（広島大学大学院生物圏科学研究科）

（オルガノ株式会社からの出捐顕彰事業として、上記の7名の大学院博士後期課程学生に「博士研究奨励賞」を授与し、第11回シンポジウムで発表するための旅費等を助成した。）

〔8〕国際招聘賞

姜 美娥 (Meea Kang) (Andong National University)

楊 宏偉 (Hongwei Yang) (清華大学環境科学与工程系)

（いであ株式会社からの出捐顕彰事業として、第43回年会で研究発表を行う上記2名の海外在住外国人会員に対し、「国際招聘賞」を授与し来日費用等を助成した。）

〔12〕国際活動

国際会議参加援助

京都会議記念基金を基に、1名の会員に対して平成20年9月7日～12日に開催された第6回IWA世界水会議（ウイーン2008）参加のための渡航費用等を助成した。

〔13〕事業活動

1. 受託研究調査の実施

1) 環境省からの受託研究調査を次のとおり実施した。

平成20年度環境技術実証事業(湖沼等水質浄化技術)の実証運營業務

平成20年度水環境健全性指標検討調査業務（株式会社日水コンと共同で実施）

2) 財団法人地球環境戦略研究機関からの受託研究調査を次のとおり実施した。

平成20年度 WEPA 日本の水環境行政情報改訂業務

2. セミナー等の開催

セミナー等を次のとおり開催した。

(1) 第17回市民セミナー

1) テーマ 温暖化、水とくらしはなる？どうする？

2) 開催日 平成20年8月25日（月）

3) 場所 「きゅりあん」イベントホール（東京都品川区）

4) 参加者 83名

(2) 第54回セミナー

1) テーマ 水道水質管理に関する最近の話題

2) 開催日 平成21年1月23日(金)

3) 場所 「自動車会館」大ホール(東京都千代田区)

4) 参加者 150名

3. 見学会の実施

第22回見学会を次のとおり実施した。

1) 期日 平成20年10月17日(金)

2) 場所 ・東京都下水道局芝浦水再生センター(東京都港区)
・しながわ水族館(東京都品川区)

3) 参加者 26名

4. 水環境ビジネスガイダンスの開催

1) 期日 平成21年3月17日(火)

2) 場所 第43回年会会場(山口市吉田)

3) テーマ 学生会員を対象とした水環境にかかわる企業の事業紹介

4) 参加企業 4社

5) 参加者 80名

5. 水環境懇話会の開催

水環境懇話会および見学会を次のとおり開催した。

(1) 第20回水環境懇話会

1) 期日 平成20年4月22日(火)

2) 場所 学会会議室

3) テーマ ・水資源開発(上水、工水、農水)に係る事業評価について

(2) 水環境懇話会見学会

1) 期日 平成20年7月5日(土)

2) 場所 埼玉県環境科学国際センター(埼玉県北埼玉郡)

3) 参加者 36名

(3) 第21回水環境懇話会

1) 期日 平成20年10月24日(金)

2) 場所 学会会議室

3) テーマ ・水環境中の医薬品及びその処理について
・地方行政における協働型環境共生政策の展望

(4) 第 22 回水環境懇話会

- 1) 期 日 平成 21 年 1 月 30 日(金)
- 2) 場 所 学会会議室
- 3) テーマ ・河川浄化に対する NPO 活動と行政との連携について
・ベトナムの河川における凝集沈澱性の確認～海外現地調査の報告～

6. その他

1. 日本学術会議土木工学・建築学委員会主催の第 22 回環境工学連合講演会を共催した。
2. 関連学協会の講演会等を協賛した。
3. IWA 団体会員の会費支払手続きを代行した。